

宣教部の活動

信仰を新たに

宣教部 植村公美子

去る十一月十四日、東京ブレイクセンターの五周年感謝礼拝がOCC八階チャペルで開催されました。

感謝礼拝でTPC和氣代表が語られた「五年間の恵みの証し」を拝聴し、神様がTPCを通してなさろうとしておられることにますます期待が膨らみました。

和氣さんの証しから、以下に記載させていただきます。

「TPCは、和氣さん（現TPC代表）になにげなく（のようにして）与えられた思いから始まりました。そして彼は、何のためか、何をするのかもわからずに踏み出しました。

まるでアブラハムです。ただ主にゆだねて踏み出しました。「信仰によって、アブラハムは、……召しを受けたとき、これに従い、どこへ行くのかを知らないうで、出て行きました。」（ヘブル11:17-18）「神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださるのです。」（ピリピ2:13）

五年前、読後ごみ箱に捨てた

クリスチャン新聞にふと目を見ると、ある売却物件が目に入りました。これが高いのか安いのかわからないにもかかわらず、神様に背中を押されたように感じ、購入にふみきました。それがOCC四階の現TPCのスペースです。

その後、一年三六五日、毎日「お昼の礼拝」と「朝夕の祈り会」をスタートさせ今にいたります。今年一〇月には、お隣の聖書考古学資料館が五階に移動されたことに伴い、そのスペースもテナントとしてかりることになりました。活動が広がるうとしています。」

TPCの五年間の活動をみるときに、神様がなさることはスピーディであり、無理がなく美しいと感じます。

TPCのためにも、祈り協力させていただきながら、神様にあって互いに愛しあい一致をもちて仕えあっていきたいと思っています。

この四月からOCCビル在館各団体の皆様の活動を掲載させていただいていますが、忠実なお働きに本当に大きな励ましを受けています。

OCCも神様に委ねられている事なすべきことに思いを馳

せ、二〇一七年へ向けて信仰を新たに歩ませて頂きたいと願っています。栄光在主。ハレルヤ。



ゴスペルチームの賛美



感謝礼拝



感謝礼拝